

令和2年度 <教職員向け自己評価表のまとめ>

提出日

令和2年 3月 31日 (水)

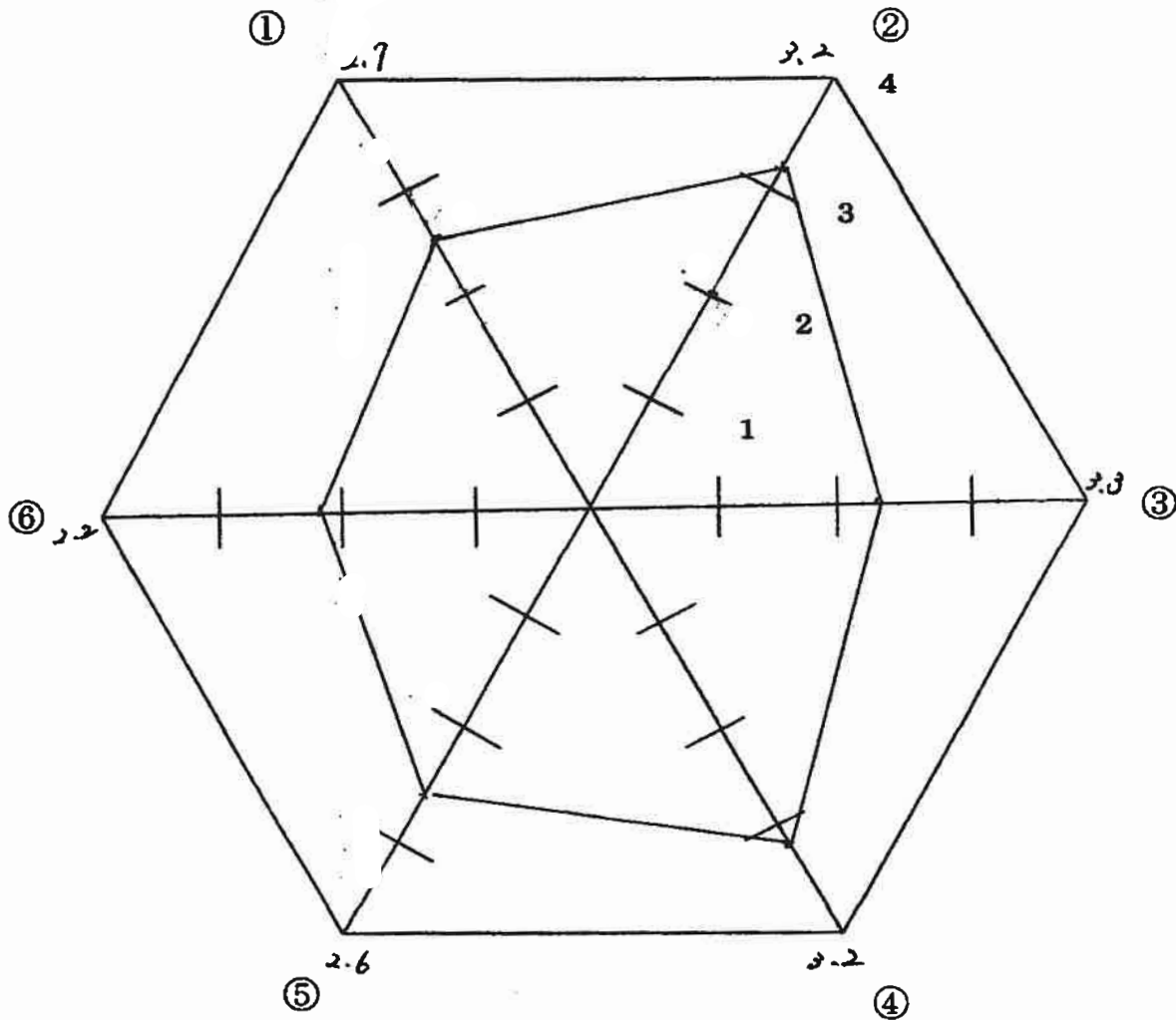
長岡天徳・職員総務課 組(担任・副担任・補助・給食・事務・バス) 年齢別担当(0・1・2・3・4・5)

(評価例) 4…よくできている 3…まあまあできている 2…あまりできていない 1…全くできていない

評価項目	内容	評価	課題と今後の解決策		
① 保育の計画性	園の理念・教育要領・教育課程	●園の理念の精神や理念、教育目標を理解している	2.5	教育要領、指導要領、園の精神共に一人ひとり覚習し、いつも心にとめるようにする。	
		●教育要領を読み、園理念の理解とあわせて園長や保育者と話し合う	2.5		
		●指導計画は、教育要領・教育課程そして幼児の実態に即して作成し、周囲の状況や変化に対応できるものとしている	2.9		
	環境構成	●指導計画に基づいた安全で安心感、満足感のある環境を構成する	3.5		子ども達の発達をみきわめ、物的、自然的環境構成を作るようにしたい。(環境構成は流動的に行う)人的環境も重要である。常におもついた安らぎの保育を心掛ける。
		●幼児が主体的にかかわりたくなるような素材や遊具に配慮し、必要な数量を用意する。	3.2		
		●幼児の発達を見通し、より豊かな活動が展開できるような環境を再構成する	3		
		●園内外の自然への理解や、季節の変化に応じた環境の構成をする	2.9		
評価・反省	●自己の保育についての評価・反省をさまざまな観点から	2.9	自分の振り返りが出来なかった。もっと仲間と会議だけでなく話し合いしたい。		
	●自分の保育を評価・反省することで、園全体の保育に活かしている	2.7			
② 保育のあり方 幼児の対応	健康・安全	●日頃から園内の危険箇所を把握する	3.1	日常生活の中には、常に危険が潜んでいる事をみんなで見守り共有する(ヒアライトの活用)	
		●毎日の園児の健康観察を大切にしている	3.5		
		●事故や怪我が発生した場合は迅速に適切な処置を行う	3.2		
	幼児理解	●幼児一人ひとりをよく観察し、幼児の思いを受け止める	3.3		一人の教師だけでなく他の教師から意見もとり入れ、一人ひとりの理解に努める。
		●幼児同士のかかわりを通して、個々の成長発達をみまみ見通しをもって理解する	3.1		
		●幼児の思いや考えに共感し、受け入れる	3.4		
指導	●規範意識・道徳性を培ううえで、モデルとなるよう心がける	3.4	教師からの一方的指導になりがちである為、子どもの思いを知ることに重点をおける様、基本が「指導」ではなく「子どもを「思う」事を心がけたい		
	●幼児の年齢・発達に応じた指導や援助をする	3			
	●ふさわしい清潔感のある服装、髪型、身だしなみを心がける	3.5			
③ 保育者の資力・能力 実践	姿勢 能力 職務 組織	●園務上の情報等の機密を守り守る	3.5	ささいな意見交換ができる様な環境をつくる。教師としての自分を理解し、仲間との話し合いや研修へ参加したりし補いながら保育に臨む。嵐時が生じた時は、特定の仲間だけへの話し合いで終わらず、会議や打ち合わせで話し合うことが良い。(答えが見つからずとも言葉に出してみることが大切)	
		●社会人の常識をわきまえ、行動する	3.5		
		●教職員組織の協調性を大切にし、チームとしての自覚を	3.4		
		●率直な意見交換を行い、組織内の問題の共有化に努め	2.9		
		●当番や役割分担など、任せられた事は確実に実行	3.6		
		●保育者としての感性・教養を高める	2.8		
④ 保護者への対応	対話 文交 クレーム対応	●保護者に幼児の様子を的確に伝える	2.5	保護者の一言一句を大切にすることが信頼関係につながる。子どもを思う気持ちが成長につながる。そして親の気持ちに近づけるようにしたい。クレーム問題は一人で抱え込まない。仲間・上司と共有し早く良い方向性が出るようにする。	
		●保護者からの相談や要望をよく聞くように心がける	2.9		
		●保護者との対応には公正さを信条とし、保育時間外でも誇りと自覚をもって直動・行動を心がける	3.3		
		●電話での対応は、わかりやすく真摯な対応に努める	3		
		●保護者からの際で、自分で判断出来ない場合は、園長主任等に報告、連絡、相談をする	3.6		
●クレームの内容によっては教職員組織全体で共有化し、共通理解のうえで対応する	3.5				
⑤ 地域・自然 人との 社会との かわり	地域・自然 小学校との 連携 子育て支援 地域への開放	●地域の自然や施設、行事等について理解し、利用する	2.9	コロナという事を理由に積極性に欠けた。	
		●地域の人々とあいさつや会話を交わし、親睦に心がける	2.9		
		●小学校の教育内容について理解するよう努める	2.1		幼稚園での生活リズムと学校での生活が違うと意識し、子ども達におおししていく
		●地域の小学校行事や公開授業等に興味をもつ	1.9		
		●子育て支援や地域開放について、内容を理解する	2.6		
●子育て支援や地域開放について、教職員全体で取り組む	2.1	コロナの中で出来る事を考えていく			
⑥ 研修と研究	研修・研究への意欲・態度	●研修会や研究会には自己課題をもって積極的に参加する	2.7	研修などで学んだ事を他の職員に伝えることができていた。伝え方を職員で話し合い、研修で学んだ事を共有する。	
		●自分の保育について自己課題をもって研究を行う	2.3		
		●自分の保育のあり方や悩みについて、他の保育者や主任、園長に相談する	2.9		
	保育者としての専門性に関する研修・研究	●幼児の発達に必要な知識を学び、現場に生かす研修・研究を行う	2.5	今年度は研修が少なく、リモートという形の研修が増えた。そんな中で「保護者への対応」「地域との交流」といった分野の研修に参加したいが現状は参加などがある。研修が増った分野内研修を充実したい。	
		●記録の取り方、考察の仕方に関する研修・研究を行う	2.3		
		●教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行う	2.1		
		●実践に基づいた評価方法と計画に関する研修・研究を行う	2.9		
		●幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・研究を行う	2.7		
		●保護者への対応に関する研修・研究を行う	2.4		
	今日的課題に関する研修・研究	●地域社会との交流に関する研修・研究を行う	2	気になる子など、子どもの状態について高頻度で話し、職員間で話し合ったり、研修に参加したい。毎日の保育の振り返りを念頭に心の中を整理する。社会情勢についても関心をもち、研修する。	
		●組織内の協力・連携に関する研修・研究を行う	2.4		
●アレルギ―、成長の遅れ、問題のある幼児について理解		3			
●預かり保育や子育て支援について研修する		2.5			
●幼小連携の必要性や具体的方策について研修する		2.2			
●子どもたちの安心・安全に関する、危機管理の必要性とについて研修する	2.5				
●社会情勢について関心をもち、研修する	2.8				

令和2年度 《自己評価項目のまとめ》

認定こども園 長岡天使聖母幼稚園



※平均点を出して、六角形を作って下さい。

- ・自己肯定感を教師自身も持てる様、そして子ども達も持てる様な支援をしたい。
- ・心身共に健康で子ども達と関わる。
- ・コロナ禍の中での感染予防をふまえ、安心安全な楽しい保育、活動を行う。